

2025 年 3 月 10 日
双日株式会社

双日、「健康経営銘柄」に 2 年連続 3 回目の選定 「健康経営優良法人 ホワイト 500」にも 3 年連続 6 回目の認定

双日株式会社（以下「双日」）は、経済産業省と東京証券取引所が共同で選定する「健康経営銘柄 2025」に選ばれました。健康経営銘柄は、東京証券取引所の上場会社の中から従業員の健康管理を経営の視点で考え、戦略的に取り組んでいる企業を評価し、選定するもので、双日が選ばれるのは 2024 年に続いて 3 回目です。また、経済産業省と日本健康会議が共同で実施する「健康経営優良法人 2025（大規模法人部門）ホワイト 500」においても 3 年連続 6 回目の認定を受けました。



双日は、企業理念に掲げる「新たな価値と豊かな未来の創造」の実現は、「社員の心身の健康」と「健全な職場環境」の上に成り立つものと考え、「双日グループ健康憲章 “Sojitz Healthy Value”」を制定し、フィジカルヘルスとメンタルヘルスの改善、女性の健康課題をテーマに取り組みを進めています。

今後も健康経営の推進によりいっそう取り組み、社員の健康の向上を図り、ひいては双日グループの成長につなげていきます。

(ご参考)

2024 年度の主な取り組み

社員一人ひとりの健康や生産性を向上させることで、組織全体の生産性向上を目指し、以下の取り組みを実施しています。

<フィジカルヘルス>

2023 年度に引き続き、社員の健康に対する意識と行動の変容を促すことを目的とした社内イベント「双日健康フェス」を開催しました。2024 年度は「睡眠」をメインテーマに、「睡眠×食」や「睡眠×運動」などと題したセミナーや仮眠体験など、10 種類の施策を実施しました。

<メンタルヘルス>

精神科産業医をはじめ、社内・社外カウンセラーなど複数の相談窓口を用意し、メンタル不調者の早期発見・早期治療に取り組んでいます。必要に応じて、所属長も専門家からアドバイスを受け、不調者のケアや職場復帰を支援しています。海外勤務者向けには、定期的なヘルスチェックなどを実施し発症予防に努めています。

<女性の健康課題>

人材育成や多様性といった人的資本の拡充には女性の活躍が不可欠であり、健康面からも支援しています。婦人科医の相談窓口を社内に設置したほか、全女性社員を対象に婦人科系がん検診を実施し、心身の健康を支えるとともに、不妊治療や婦人科系がんに関するセミナーなどを通じて、女性の健康課題について管理職や周囲の理解を深めることで、女性が活躍できる環境整備を進めています。

[双日グループ健康憲章“Sojitz Healthy Value”宣言](#)